

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	コンピュータネットワーク 1(Base of computer network 1) 392097-14700					担当教員	山川 智子 (ヤマカワ トモコ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位数	2	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
IT(情報技術)は社会の礎である。どのような業種・職種でも、ITと経営全般に関する総合的知識が不可欠で、事務系・技術系、文系・理系を問わず、ITの基礎知識を持ち合わせていなければ、企業の戦力にはなりえない。グローバル化、ITの高度化はますます加速し、「英語力」と共に、「IT力」を持った人材を社会は求めている。国家試験「ITパスポート試験」の試験体系に準拠して、ITを利活用するこれから社会人となる学生が備えておくべき基礎的な知識を身に付ける。授業は主に講義形式で進め、随時課題および小テストを課す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
「ITパスポート試験」に合格するためには、情報技術に関する幅広い知識を身につけることが必要である。ITパスポート試験過去問題などを利用した授業時間外の自主的な学習を求める。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「情報処理の基礎1」、「情報処理の基礎2」、「情報システムの基礎1」、「情報システムの基礎2」、「コンピュータネットワーク1」、「コンピュータネットワーク2」は、あわせて履修することが望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
「ITパスポート試験」で求められている、ITを利活用するこれから社会人となる学生が備えておくべき基礎知識の、主にテクノロジ系(技術分野)の「技術要素」の内容を習得することを目標とする。									
(i) ヒューマンインタフェースの各名称と役割									
(ii) ファイルの種類と特徴									
(iii) データベースの用語									
(iv) 簡単なデータベースの正規化									
⑥ テキスト(教科書)									
富士通エフ・オー・エム(2020)『よくわかるマスター 令和2-3年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集』, FOM出版									
⑦ 参考図書・指定図書									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		20%			20%		100%
(i) ヒューマンインタフェースの各名称と役割	15%		5%			5%		25%
(ii) ファイルの種類と特徴	15%		5%			5%		25%
(iii) データベースの用語	15%		5%			5%		25%
(iv) 簡単なデータベースの正規化	15%		5%			5%		25%
フィードバックの方法	前回の演習問題の解説を行うことでフィードバックし、学修内容の定着をはかる							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
テキストに記載されていないが、実際の IT パスポート試験で出題された部分など、出題傾向も併せて解説する。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ヒューマンインタフェース技術	テキスト	9-1-1 ヒューマンインタフェース技術の整理・復習	60分
2	インタフェース設計	テキスト	課題作成, 9-1-2 インタフェース設計の整理・復習	90分
3	マルチメディア技術	テキスト, 課題	9-2-1 マルチメディア技術の整理・復習	60分
4	マルチメディア応用 1	テキスト	9-2-2 マルチメディア応用の整理・復習	60分
5	マルチメディア応用 2	テキスト	課題作成, 9-2 マルチメディアの整理・復習	90分
6	データベース方式	テキスト, 課題	9-3-1 データベース方式の整理・復習	60分
7	データベース設計 1	テキスト	9-3-2 データベース設計の整理・復習	60分

8	データベース設計 2	テキスト	課題作成, 9-3-2 データベース設計の整理・復習	90分
9	前半のまとめ	テキスト, 課題	授業内容の整理・復習	60分
10	データ操作	テキスト	9-3-3 データ操作の整理・復習	60分
11	トランザクション処理	テキスト	課題作成, 9-3-4 トランザクション処理の整理・復習	60分
12	表計算ソフト	テキスト	10-1 表計算ソフトの整理・復習	60分
13	式	テキスト	10-2 式の整理・復習	60分
14	関数の利用	テキスト	10-3 関数の利用の整理・復習	90分
15	まとめ	テキスト, 課題	全体の整理・復習	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。授業の終わりに演習問題を課し、回答を提出させる。次回の始めに前回の演習問題の解説を行うことでフィードバックし、学修内容の定着をはかる。理解の確認のための単元テスト・レポート提出を 3 回以上実施する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性